

いきいき 信州の森林

上巻 木材の利用

下巻 山と暮らし

取材・文 赤堀 楠雄

◎上巻「木材の利用」目次より

第1章●木曾ヒノキ

木曾ヒノキの来た道／天然木曾檜／人工林ヒノキで産地再形成／木曾路が公共木造ロードに

第2章●信州カラマツ

信州カラマツをめぐる動向／カラマツ製材／高付加価値利用

第3章●信州の木を活かす

北信のスギを活かす／トータル林業を推進／アカマツ曲がり材を活かす／木曾のサワラを活かす／広葉樹利用を広げたい／発電＋製材で森林資源を高度利用／燃料材のトレーサビリティ確保に新技術／木材加工を支える目立て・研磨技術

第4章●信州の木を語る

藤原忠彦さん／宮崎正毅さん／都築透さん／中野安久さん

第5章●次の時代をつくる

由井正宏さん／勝野泰平さん／宮崎淳貴さん／荒井里佳子さん／山仕事創造舎／北川聖司さん

●信濃毎日新聞連載記事

信州の山と林業に関わって55年。
長野県林業コンサルタント協会が、
昭和・平成・令和の3時代を通して見つめてきた
信州の山と木と人を
長野県在住の林材ジャーナリスト赤堀楠雄さんが
新たに取材しました。
信州の森林を集大成する上下2巻。

A5判／並製本カバー付
224 ページ／オールカラー
定価／本体 2,000 円＋税

信濃毎日新聞連載
「信州カラマツを宝に」
全編収録

赤堀 楠雄 (あかほり・くすお／林材ジャーナリスト)

1963年生まれ、東京都出身。林業・木材産業専門新聞社勤務を経て、1999年からフリー記者として、森林・林業・木材・木造建築などに関する取材・記事執筆に従事。現在「現代林業」、「木材情報」、「森林組合」などに連載中。2010年から長野県上田市在住。

著書に「林ヲ営ム～木の価値を高める技術を経営～」(農文協)、「図解入門よくわかる最新木材のきほんと用途」(秀和システム)、「変わる住宅建築と国産材流通」(全国林業改良普及協会)、「基礎から学ぶ森と人の暮らし」(農文協、共著)、「有利な採材・仕分け実践ガイド」(全国林業改良普及協会、編著)などがある。



